

エフオーテクニカ  
SDGsコミュニケーションレポート



SDGs



# はじめに

- SDGs(Sustainable Development Goals)は、国連が持続可能な社会を実現するために定めた目標です。実現には、経済成長、社会的包摂(誰一人取り残さない社会)、環境保護の調和が必要とされています。
- SDGsの17の目標は、人間(People)、豊かさ(Prosperity)、地球(Planet)、平和(Peace)、パートナーシップ(Partnership)に関わるもので、2030年までに達成すべきとされています。
- エフオーテクニカでは、事業を通じてSDGs達成に貢献する取り組みを行っています。それぞれに関連の深いSDGsの目標とともに、8つのキーワードで紹介します。



環境保護活動



人道的支援活動



スポーツ支援活動



学習、教育支援活動



交通安全  
防犯活動支援



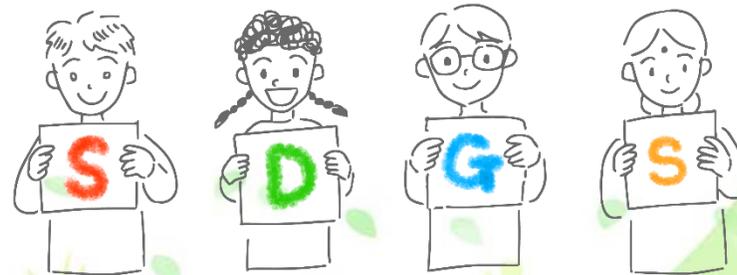
イノベーション  
技術研究の拡大



いきいきと働く



ペーパーレス推進活動





● 私たちは、エフオーテクニカが策定する環境・安全衛生実施実施計画に於いて、「海岸のクリーン活動」「地域のクリーン活動」に取り組んでいます。

● 世界中で増え続ける海洋ごみの問題。2050年にはプラスチックをはじめとする海洋ごみの量が、魚の量より多くなるともいわれています。日本財団と環境省は共同で、「海ごみゼロ」を合言葉に一斉清掃活動を推進しています。私たちに出来る事は、ごみを出さない、ごみを捨てない、ごみを拾う。この行動は日本の誇りであり、世界の模範となります。一人ひとりの行動が、海の未来を守ることにつながります。



また、陸上に於いても同じようにゴミ問題など様々な課題があります。

私たちは、海、陸に住む生物からの恩恵を受けて豊かな生活を送っています。

しかし、人間の活動が引き金となって、生物の多様性が急速に失われています。

地球の豊かさや海陸に住む生物の多様性を維持するためには、まずは現状を把握し、解決するべき問題を明確にしなければなりません。

私たちはこれからもこの活動を継続してまいります。



# 人道的支援活動



● 私たちは、古着deワクチン まごころプロジェクトのスタートについて 世界中の笑顔につながるそんな素敵な出来事に「エフオーテクニカ」は取り組んでいます。

● 不要になった衣類や服飾雑貨を専用の回収袋に詰めて送ることで、「認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会 (JCV)」を通じて、開発途上国の子どもたちにワクチンを届けられるサービスを開始致しました。  
 「古着の回収キットを1個買うごとに、ラオスなど開発途上国の子ども5人にポリオワクチンが送られる仕組みです。サービス開始から2020年9月までに、約2157万着の衣類が再利用され、累計266万人分以上のポリオワクチンが寄付されています」

また、義援金の支援として災害募金活動を行いエフオーテクニカ社員として地域に貢献できるよう努力しています。

令和5年度  
古着deワクチンSDGsサポーター認定書  
株式会社エフオーテクニカ様

古着deワクチンSDGsサポーターとしてここに認定いたします。

古着deワクチン運営事務局

古着deワクチン  
はいままでに  
合計 5,217,609人分  
ワクチンを寄付させていただきました。

合計 43,525,650着分  
衣類を再利用させていただきました。

あなたのお片づけが  
ポリオワクチンの寄付につながります

着られなくなった、または使わなくなった衣類等を送っていただいたら、いまだポリオの脅威がある開発途上国の子どもたちに、ワクチンを届けます。他にも国内外の障がい者やかつてストリートチルドレンだった若者たちの、雇用も生み出しています。

「古着deワクチン」をご利用いただくと  
1口につき、5人の子どもの命を救うことができます

専用回収キットご購入代金のうち、5人分のポリオワクチン代金、寄付としてお預かりし、「世界の子どもにワクチンを 日本委員会 (JCV)」に届けます。「古着deワクチン」は、JCVを通して、ミャンマーやラオス、ブータン、バヌアツの子どもたちに、ポリオワクチンを届けています。

# スポーツ支援活動



● 私たちは、アミノバイタルトレーニングセンター宮崎の運営に協賛し、スポーツを通して健康増進を図ることによる健康長寿社会の実現をサポートしています。

● スポーツを通じたコミュニケーションによって様々な課題を共有し、解決に向けて行動する人を一人でも多くつくり出すことで、よりよい社会を目指しています。

スポーツが社会の進歩に果たす役割は、持続可能な開発のための2030アジェンダ宣言でも、次のように認識されています。

「スポーツもまた、持続可能な開発における重要な鍵となるものである。我々は、スポーツが寛容性と尊厳を促進することによる、開発および平和への寄与、また、健康、教育、社会包摂的目標への貢献と同様、女性や若者、個人やコミュニティの能力強化に寄与することを認識する。」

この画期的な認識を追い風として、かつ、多くの部門にまたがる「開発と平和のためのスポーツ」活動とプログラムのこれまでの成果を土台に、スポーツは今後も、SDGsのための活動とその実現を支援することで、グローバルな開発を前進させてゆくことでしょう。国連は、SDGsの17項目それぞれの達成に向けた課題に取り組む潜在的な能力を備えた重要かつ強力なツールとして、スポーツがその役割を果たすことを期待しています。



国立競技場などで使用されている、最高品質の天然芝「ティフグラウンド」を採用  
写真提供 指定管理者：シーホース宮崎

# 学習、教育支援活動



● 私たちは、地域に根ざした教育活動を通じて、地域社会と学校や教育機関をつなぐ架け橋となります。エフオーテックでは、学生の教育支援を行いながら共に成長する企業を目指します。

● この活動は、地域における個々の生徒や学生の持つ能力や資質を引き出し、育成することを目指しています。地域特性、会社の特徴を理解した教育が行われることで、多様な才能や可能性が発見され、育成されます。

地域教育には地域社会を支える多くの役割があります。地域教育を通じて、地域社会の活性化や持続可能な発展が促進されるとともに、個々の生徒や学生の成長が支えられます。

地域教育は地域社会に多大な影響を与える重要な要素の一つです。地域の教育状況が向上することで、地域社会全体の発展に繋がると言われています。

地域の若者たちがより高い教育を受ける機会を得ることができます。その結果、将来的には高度な職業に就くことができ、地域の労働力として社会経済に貢献することが期待されます。



中学校への学習支援



大学生向け産学連携マネジメントセミナー



中学校、高校生向けの職場体験学習

# 交通安全、防犯 活動支援



私たちは、「宮崎・日本の宝物＝子供」を地域が一体になり守って、いこうという意識造りを広げていく活動に取り組んでいます。新入学児童を対象に防犯ブザーを無償配布し、ラジオCM・テレビCMやポスターを通し、子どもたちの防犯対策と交通安全に対する注意喚起を行うことで、地域が一体となって犯罪や交通事故から子どもたちを守るMRT-HAPPY Smileキャンペーンに協賛しております。

この笑顔も、  
みんなで守りたい

子どもたちの「安全」と「笑顔」は、  
**HAPPY mrt smile**  
キャンペーン2024

子どもたちは、社会の宝、  
そして、私たちの未来への希望です。  
子どもたちが安心して暮らせる社会。  
それを作り・守るのは、私たち大人の責任です。  
かけがえのない、宮崎の子どもたちを守る。  
地域で、家庭で、私たちにできることがあります。

キャンペーン期間：2024年4月1日～2025年3月31日  
<https://mrt.jp/>



主催：mrt宮崎放送

私たちは、mrt HAPPY smile <sup>2024</sup> キャンペーンを応援しています。

後援：宮崎県・宮崎県教育委員会・宮崎県警察本部・  
宮崎県交通安全協会・宮崎県防犯協会・宮崎県市長会・宮崎県町村会

協賛：矢野産業、矢野興業、米良電機産業、宮崎南印刷、宮崎ガスグループ、宮崎エレベーターサービス、南那珂森林組合、マルミヤストア、平和リース、ナンテック、戸村精肉本店グループ、(株)デンソー宮崎、デンサン、スズキ自販宮崎、JAバンク宮崎、内陽プラントサービス、児湯食農、県民共済、クラタカ、ぎょうざの丸岡、清本鉄工、川越紙工、エフオーテクニカ、アメックス

# イノベーション 技術研究の拡大



8 働きがいも  
経済成長も



9 産業と技術革新の  
基盤をつくろう



17 パートナーシップで  
目標を達成しよう



- 宮崎大学 研究・産学地域連携推進機構第技術・研究発表交流会への参加
- 私たちは、産学官の連携を通し新製品の開発、取り組みを進めています。産官学連携は、SDGsやサステナビリティ、地方創生、地域活性化と関連することが多い取り組みです。産官学連携の目的は多岐にわたりますが、政府の指針として明確に提示・推進されているのが、「イノベーションの創出」と「地域課題の解決」です。私たちが開発した製品を通して、新たな産業の創出や雇用の創出、地域が活性化されることを期待します。



# いきいきと働く



- 安全と健康、働きがいと働きやすさを求めて「ポジティブ・メンタルヘルス」が人と組織を活性化する。
- 人は誰でも、生まれつき、「人間が人間らしく尊厳をもって幸せに生きる権利」があり、これを”人権”といいます。心身ともに健康である事が何よりも大切です。職場も、安全と健康の確保、適正な労働時間、差別やハラスメントの禁止など、人権を守り、個性や多様な価値観が認められ、皆が能力を発揮できる環境が大切です。エフオーテクニカでは、労働時間・安全衛生管理、ワーク・ライフ・バランスのための勤務制度、十分な学習機会など、いきいきと働くことのできる職場づくりを目指しています。

カウンセリング相談



メンタルヘルス  
キャリアカウンセリング相談

イベント



潮干狩りイベント

安全教育



屋外消火栓消化訓練

エイジフレンドリー教育  
55歳+60歳(測定会/ステップテスト等)



握力測定



産業医面談



BBQイベント



心配蘇生法訓練、AED訓練



開眼片足立ち (静的バランス)

# ペーパーレス推進活動



DX導入により、業務効率化、ペーパーレス化を推進

地球上の資源は無限にあるわけではなく、紙を作るにも樹木などの資源を大量に消費します。開発や地球温暖化が進んだことで、森林が急速に減少している昨今。ペーパーレス化によって紙の使用量が減れば、それだけ資源の消費を抑えることができます。またペーパーレス化は働き方だけでなく、“環境保全”の面においても大きく貢献しています。私たちは、ペーパーレス化による資源の使用頻度を減らし地球環境や資源の保護に努め、業務の効率化や生産性の向上、さらには多様な働き方などを目指しています。



DX導入による事務所内でのペーパーレス化を推進 キントーン開始による、“紙削減”

私たちの職場でもある、半導体工場で使用される記録用紙のペーパーレス化 タブレット使用による、“紙削減”



エフオーテクニカ  
SDGsコミュニケーションレポート

*FOT*

SDGs